

大学での探究へ

実践探究 (仮)

- ・ 6年が受講
- ・ 65分 × 2コマ (連続授業ではない)
- ・ 全26週【調査・研究・「卒業論文」執筆・発表会等】

基盤探究 (仮)

- ・ 5,6年が混合で受講
- ・ 水曜午後65分 × 2コマ連続
- ・ 全26週【6講座18週(3週 × 6回)
+ガイダンス・まとめ・発表会など8週】

中等教育で育成する探究の力・スキルを発達段階的に配置

実践探究

- ・ 生徒が自身の課題に基づいて調査・研究を進める。
- ・ その成果を基に、「探究のアウトプット(名称未定)」を執筆、制作する。
- ・ 「卒業論文」の指導は、附属中等教育学校教員が中心であるが、大学教員の支援も受ける。

基盤探究

- ・ 大学教員が中心となって講義を行う。
- ・ 中等教育で育成する「探究の力・スキル」を発達段階的に整理して配置する。
- ・ 2年目の受講となる講義では、6年には5年よりも深化した課題を与える。

高大連携文理融合探究コース 講義編成イメージ

まとめや発表会	第19~20週 まとめ	第21~23週 発表準備	第24~26週 発表会
講義6 (F先生)	第16週 ③① ③②	第17週 ③③ ③④	第18週 ③⑤ ③⑥
.....
講義2 (B先生)	第4週 ⑦ ⑧	第5週 ⑨ ⑩	第6週 ⑪ ⑫
講義1 (A先生)	第1週 ① ②	第2週 ③ ④	第3週 ⑤ ⑥

基盤探究 (6年)

2月~3月 研究会・学会等で発表
11月~1月 英語プレゼンテーション作成
9月~11月 日本語プレゼンテーション作成・発表
6月~8月 「卒業論文」執筆
4月~6月 各人の課題について調査・研究

実践探究 (6年)

まとめや発表会	第19~20週 まとめ	第21~23週 発表準備	第24~26週 発表会
講義6 (F先生)	第16週 ③① ③②	第17週 ③③ ③④	第18週 ③⑤ ③⑥
.....
講義2 (B先生)	第4週 ⑦ ⑧	第5週 ⑨ ⑩	第6週 ⑪ ⑫
講義1 (A先生)	第1週 ① ②	第2週 ③ ④	第3週 ⑤ ⑥

基盤探究 (5年)

■「基盤探究」は、2年間でのべ12テーマを用意し、各年度6テーマずつ開講するイメージ

→生徒は、5年・6年で合計12テーマの講義を受講する

■1つのテーマにおける時間配分は、
65分 × 2コマ連続 × 3週

→合計6コマの内容は、
大半を講義とする形や
実習・調査・議論などを含める形など
テーマの特性なども勘案し決めていく